

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 16 日 (2017.2.16)

【公表番号】特表 2016-530846 (P2016-530846A)

【公表日】平成 28 年 9 月 29 日 (2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報 2016-057

【出願番号】特願 2016-542634 (P2016-542634)

【国際特許分類】

H 0 4 W 74/02 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

H 0 4 W 28/06 (2009.01)

H 0 4 W 48/10 (2009.01)

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 W 74/02

H 0 4 W 84/12

H 0 4 W 28/06 1 1 0

H 0 4 W 48/10

H 0 4 W 52/02 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 10 日 (2017.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線 LAN システム (W L A N) におけるアクセスポイント (A P) によって行われる
チャンネルアクセス制御方法であって、

ステーション (S T A) から、ターゲットウエイクタイム (T W T) のためのリソース
の保護が前記 A P に対して要求されるか否かを示すビット値を備える要求フレームを受信
するステップと、

前記リソースを保護するための前記要求の受信に応答して、前記 S T A に対して、前記
T W T のための前記リソースが保護されるか否かを示すビット値を備える応答フレームを
送信するステップと、

を含むチャンネルアクセス制御方法。

【請求項 2】

前記リソースの前記保護を要求するために、前記 S T A は、前記要求フレームの前記ビ
ット値を 1 に設定することを特徴とする請求項 1 に記載のチャンネルアクセス制御方法。

【請求項 3】

前記リソースの前記保護を要求しないために、前記 S T A は、前記要求フレームの前記
ビット値を 0 に設定することを特徴とする請求項 1 に記載のチャンネルアクセス制御方法。

【請求項 4】

前記応答フレームの前記ビット値が 1 であるとき、前記応答フレームの前記ビット値は
、制限されたアクセスウィンドウ (R A W) を割り当てることによって、前記リソースは
保護されることを示すことを特徴とする請求項 1 に記載のチャンネルアクセス制御方法。

【請求項 5】

前記応答フレームの前記ビット値が0であるとき、前記応答フレームの前記ビット値は、前記リソースは保護されない場合があることを示すことを特徴とする請求項1に記載のチャンネルアクセス制御方法。

【請求項6】

前記S T Aからの前記リソースを保護するための前記要求の受信に応答して、前記S T AのT W Tサービス期間を保護するための、制限されたアクセスウインドウ(R A W)を割り当てるステップをさらに備えることを特徴とする請求項1に記載のチャンネルアクセス制御方法。

【請求項7】

前記割り当てられたR A W上の情報を備えるビーコン信号を送信するステップを更に備えることを特徴とする請求項6に記載のチャンネルアクセス制御方法。

【請求項8】

前記割り当てられたR A Wは、トラフィック表示マップ(T I M) S T Aのチャンネルアクセスを制限するためのものであり、前記T I M S T Aは、前記T I M情報をチェックするS T Aであることを特徴とする請求項6に記載のチャンネルアクセス制御方法。

【請求項9】

無線L A N(W L A N)システムにおけるステーション(S T A)によって行われるチャンネルアクセス制御方法であって、

アクセスポイント(A P)に対して、ターゲットウエイクタイム(T W T)のためのリソースの保護が前記A Pに対して要求されるか否かを示すビット値を備える要求フレームを送信するステップと、

前記リソースを保護するための前記要求の受信に応答して、前記A Pから、前記T W Tのための前記リソースが保護されるか否かを示すビット値を備える応答フレームを受信するステップと、

を備えることを特徴とするチャンネルアクセス制御方法。

【請求項10】

前記リソースの前記保護を要求するために、前記S T Aは、前記要求フレームの前記ビット値を1に設定し、前記リソースの前記保護を要求しないために、前記S T Aは、前記要求フレームの前記ビット値を0に設定することを特徴とする請求項9に記載のチャンネルアクセス制御方法。

【請求項11】

前記応答フレームの前記ビット値が1であるとき、前記応答フレームの前記ビット値は、制限されたアクセスウインドウ(R A W)を割り当てることによって、前記リソースは保護されることを示し、

前記応答フレームの前記ビット値が0であるとき、前記応答フレームの前記ビット値は、前記リソースは保護されない場合があることを示すことを特徴とする請求項9に記載のチャンネルアクセス制御方法。

【請求項12】

前記S T Aからの前記リソースを保護するための前記要求の受信に応答して、前記A Pは、前記S T AのT W Tサービス期間を保護するための、制限されたアクセスウインドウ(R A W)を割り当てることを特徴とする請求項9に記載のチャンネルアクセス制御方法。

【請求項13】

アクセスポイント(A P)であって、

ステーション(S T A)から、ターゲットウエイクタイム(T W T)のためのリソースの保護が前記A Pに対して要求されるか否かを示すビット値を備える要求フレームを受信し、

前記リソースを保護するための前記要求の受信に応答して、前記S T Aに対して、前記T W Tのための前記リソースが保護されるか否かを示すビット値を備える応答フレームを送信するように構成されたプロセッサを含むことを特徴とするアクセスポイント。

【請求項14】

ステーション（ＳＴＡ）であって、
アクセスポイント（ＡＰ）に対して、ターゲットウエイクタイム（ＴＷＴ）のためのリ
ソースの保護が前記ＡＰに対して要求されるか否かを示すビット値を備える要求フレーム
を送信し、
前記リソースを保護するための前記要求の受信に応答して、前記ＡＰから、前記ＴＷＴ
のための前記リソースが保護されるか否かを示すビット値を備える応答フレームを受信す
るように構成されたプロセッサを含むことを特徴とするステーション（ＳＴＡ）。